

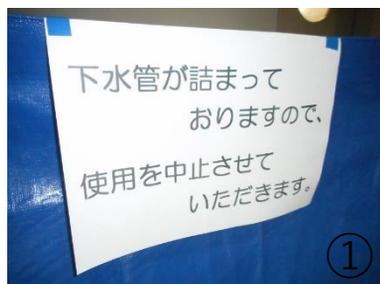
大きな地震で**お家のトイレ**が 使えなくなったら**大変!!**

災害時に備えた食料、飲料水の備蓄は浸透してきましたが、「**災害用携帯トイレ**」の備蓄を忘れていませんか？生きる上で、「食べること、飲むこと」と「出すこと」はセットです。もし、トイレが使えなかったら、体調を崩したり、最悪の場合、災害関連死に繋がる可能性もあります。あなた自身と大切な家族を守るため、ぜひ「**災害用携帯トイレ**」を備蓄しましょう。

区の調査によると
地震に備えた飲料水や食料品の備蓄は・・・
区民の方の**7割弱**が備蓄 うち、備蓄量は**3日分**
一方、災害用簡易トイレの備蓄は・・・
区民の方の**3割弱**が備蓄 うち、備蓄量は**1日分**



【平成28年度に発生した熊本地震でもトイレに被害がありました】



避難所では、断水によりトイレの水が出ませんでした（写真①②）そのため、バケツに入れた水を使って流していました（写真③）。（撮影場所：アクアドームくまもと〈熊本市〉）

災害用携帯トイレの備蓄の目安は…

1日1人		日数		家族
5回分	×	7日分	×	人数分

M7程度の地震の**30年以内**の確率は**70%**

地震に備えて家族でトイレのことを話して備蓄しよう

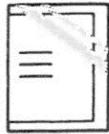
災害用携帯トイレは様々な製品がありますので、家族の人数や使用回数に応じて備えましょう

災害用携帯トイレの使い方

■内容物



蓄便袋



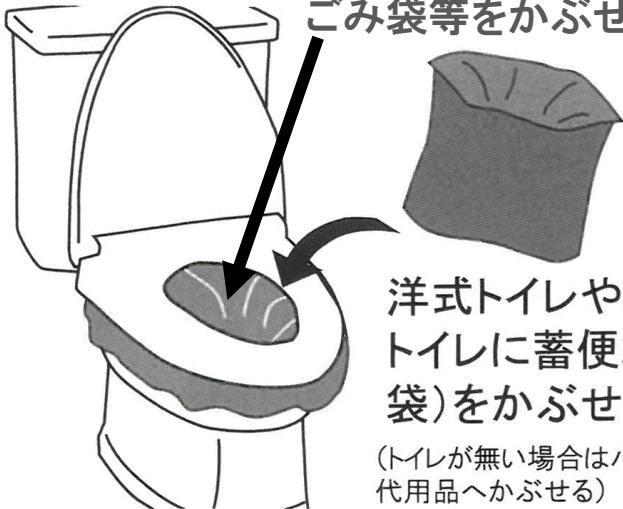
便凝固剤



使用方法

①

トイレに残った水で蓄便袋が汚れないよう、トイレにあらかじめゴミ袋等をかぶせておく。



洋式トイレやポータブルトイレに蓄便袋(黒色の袋)をかぶせ固定する。

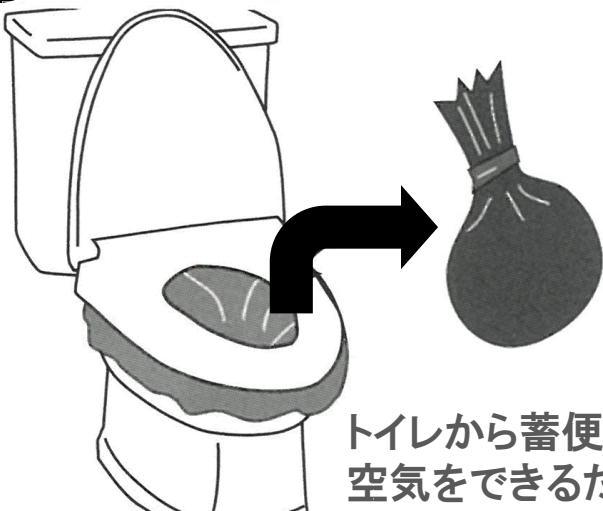
(トイレが無い場合はバケツ・箱などの代用品へかぶせる)

②



用を足した後便凝固剤を振りかけ排泄物をゼリー状に固める。

③



トイレから蓄便袋をはずし、空気をできるだけ抜き、口を強く縛る。

④



袋を二重に!

新聞などの紙類を混ぜる!

処分方法3ステップ

- ①衛生面から袋を二重にする
- ②処分時に燃やしやすいするため、新聞・雑誌などのよく燃えるごみを混ぜる(可能な限り便袋を包む)
- ③可燃ごみとして出す

※災害時は、資源・ごみの収集が休止となったり、分別ルール・排出方法が変更となる場合があります。区ホームページや防災無線等で周知しますのでご確認ください。